

|  |   |
|--|---|
| 課題名  | 「人間ドック健診で発見したがん症例調査」  |
| 承認番号   | 調 2019-3 番  |
| 研究機関名  | 横浜市立みなと赤十字病院  |
| 研究責任者  | 所属 健診センター 氏名 松本 明美  |
| 研究期間   | 2019 年 9 月 ～ 2025 年 3 月   |
| 研究の意義・目的   | <p>日本人間ドック学会の依頼によりこの調査を行います。</p> <p>がん検診の目的はがんを早期に発見し、死亡率を減少させることです。これまで人間ドック学会は、全国集計調査を行ってきましたが、統計として不十分であると考えます。今回ドック学会主導による本調査でがん症例の詳細なデータを集計し、がん発症の危険因子について検討できる学術基盤を新しく創り、国民の健康増進、寿命延伸に寄与することを目的とします。</p> <p>日本人間ドック学会とは、「我が国の予防医学に関する学術の振興と高齢者福祉の増進及び勤労者福祉の向上を主たる目的として、国民の健康増進の充実を寄与する」と基本規則に掲げている組織です。</p> |
| 研究の方法<br>(対象期間含む)  | 2017 年 4 月～2018 年 3 月に当院において人間ドック健診を受診していただいた 2,275 人のなかでがんと診断された 13 人を対象とします。基本情報、診断名、部位、ステージ・進展度、組織診断名、実施した検査と判定、治療情報などのデータを基に解析を行います。  |
| 試料・情報の利用目的及び<br>利用方法<br>(匿名加工する場合や他施設へ提供<br>される場合はその方法を含む) | <p>本研究の目的のみにデータを利用します。本研究に携わるすべての研究者は「ヘルシンキ宣言」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って本研究を実施します。また、個人情報には研究に使用しません。</p> <p>医学雑誌や学会に発表される場合はプライバシーを保護するために、受診者の氏名、生年月日、住所など、個人を特定できる情報は公表されず外部に漏れることはありません。</p> <p>研究対象者からデータ利用不可の連絡があった場合、その旨を記録し解析には用いませぬ。研究対象者が不利益を被ることがないように留意し対処します。</p>                                   |
| 利用又は提供する<br>試料・情報の項目                                       | 性別、生まれ年、部位名、詳細部位名、術前ステージ分類・TNM 分類、進展度、術後ステージ分類・pTNM 分類、壁深達度、組織診断、腫瘍径、発見経緯、初回・非初回、受診回数、治療法、実施検査情報  |
| 試料・情報を<br>利用する者の範囲   | 「公益社団法人 日本人間ドック学会」調査研究責任者 三原 修一<br>「人間ドックの有用視に関する大規模研究委員会」委員長 加藤 公則   |
| 試料・情報の管理における<br>責任者の氏名又名称<br>(当院及び提供先)                     | 横浜市立みなと赤十字病院 健診センター 松本 明美   |
| 問い合わせ先   | 当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ<br>〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1<br>横浜市立みなと赤十字病院 所属 健診センター 氏名 松本 明美<br>TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101   |